2024 年度版

動物実験に関する自己点検・評価報告書

大阪河崎リハビリテーション大学

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 大阪河崎リハビリテーション大学動物実験規程 大阪河崎リハビリテーション大学動物実験規程実施細則 大阪河崎リハビリテーション大学動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本方針に適合する機関内規程が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 大阪河崎リハビリテーション大学動物実験規程 大阪河崎リハビリテーション大学動物実験規程実施細則 大阪河崎リハビリテーション大学動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に適合する動物実験委員会が適正に設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 □ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料 大阪河崎リハビリテーション大学動物実験規程 大阪河崎リハビリテーション大学動物実験規程実施細則 大阪河崎リハビリテーション大学動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に適合した動物実験の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 ☒ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 該当なし。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 該当なし。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 大阪河崎リハビリテーション大学動物実験規程 大阪河崎リハビリテーション大学動物実験規程実施細則 大阪河崎リハビリテーション大学動物実験委員会規程 特定外来生物の飼養等許可証
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 指針に定義する実験動物以外の飼養（両生類）であるが、適正な飼養保管の体制である。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

大阪河崎リハビリテーション大学動物実験規程
大阪河崎リハビリテーション大学動物実験規程実施細則
大阪河崎リハビリテーション大学動物実験委員会規程

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

学内諸規則に基づき、適正な委員会活動が実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

大阪河崎リハビリテーション大学動物実験規程
大阪河崎リハビリテーション大学動物実験規程実施細則
大阪河崎リハビリテーション大学動物実験委員会規程

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

2023 年度は、指針に定義する動物実験は行われていないが、適正に動物実験を行うことができる状況である。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☒ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 該当なし。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 該当なし。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 飼養等をする数量の増加、減少等の届出（報告）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 指針に定義する実験動物以外の飼養（両生類）であるが、飼養保管は適正に行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物飼育棟（現況確認）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 適正な維持管理が実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 生命倫理講習 動物実験に関する教育訓練 動愛法講習 資料 教育訓練参加者名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本方針等に基づいて実施しているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 大阪河崎リハビリテーション大学ホームページ
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 「2023年度版動物実験に関する自己点検・評価報告書」をホームページに公表している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。